

米国CMGC方式に学ぶ、WCS方式のあり方

2015年11月21日に発表された「質の高いインフラパートナーシップ」に係る首相発表において、円借款事業の制度改善策の一つとして、WCS方式を念頭に「質の高いインフラ」を実現するため、有償勘定技術支援により発注者への支援を実施する」と述べられた。同発表を受け、国土交通省はWCS方式について諸外国の発注制度等との適合性の確認等を通じて、実地の適用を促進することを目的に「WCS制度の展開に関する検討会」を立ち上げ、JICAは円借款案件へのWCS方式の適用について調査を進めている。

そこで今回、WCS方式の類似方式であるCMGC方式の先駆者である米国より講師を招き、セミナーと意見交換会を企画いたしました。本セミナーでは、米国における公共工事においてCMGC方式が採用されるに至った経緯から、具体的な適用例とその効果、実施に当たって注意すべき点などをご紹介します。

日 時 2016年9月20日(火) 13:30~17:10

プログラム

13:00 開場・受付開始

司会: 井口達也(公益社団法人土木学会ODA活用検討小委員会・委員)

13:30~13:40 開会挨拶 平井節生(国土交通省総合政策局海外プロジェクト推進課長)

13:40~14:10 講演 「包括的建設サービス(WCS)方式の導入に向けて」

小澤一雅(公益社団法人土木学会ODA活用検討小委員会・委員長)

14:10~14:30 休憩

14:30~16:30 講演 「米国公共工事におけるCMGC方式 ~その成り立ちと現状・成果~」

講師: John Haynes(米国連邦道路局:FHWA)

「プログラムマネージャー(コンサルタント)から見たCMGC方式」

講師: Michael Baker(David Evans and Associates, Inc社副社長)

16:30~17:00 質疑応答

17:00~17:10 閉会挨拶 江島真也(独立行政法人国際協力機構企画部長)

17:30~19:00 意見交換会(会費制)

(敬称略)

※講師、講演タイトル、時間等は変更になる場合がございますが、ご了承下さい

使用言語

英語、日本語(日英の同時通訳を実施)

会場

公益社団法人 土木学会 講堂・AB会議室(〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内)

主催

国土交通省、独立行政法人国際協力機構、公益社団法人土木学会 建設マネジメント委員会

後援

一般社団法人 海外建設協会、一般社団法人 海外コンサルタンツ協会

参加費

無料、ただし意見交換会は会費制(2000円予定)

申込方法

土木学会ホームページ本部主催行事参加申込サイトよりお申込み下さい。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

FAXでお申し込みの場合は、土木学会本部主催行事参加申込書(PDF)をダウンロードして頂くか、学会誌巻末に掲載されている「本部 行事参加申込用紙」をご使用頂き、必要事項をご記入の上お申込み下さい。

問合せ: 公益社団法人 土木学会 研究事業課 丸畑

TEL: 03-3355-3559 / FAX: 03-5379-0125 / E-mail: maruhata@jsce.or.jp



※本行事はCPDプログラムに認定されています